

平成30年08月14日

リーダー 八田 崇史

7月度活動報告

平成30年7月28日(土) (第243回目)

13:30~16:30

参加者10名

◆1時間目 Windows 10 Fall Creator update の機能強化 13:30~14:00 30分

※Windows 10 をもっと使い易くする。

「Win10 に搭載のアドレス帳アプリについて」

資料 (Windows10 標準のメールアプリで連絡先を活用する) 5ページ

本題のメールアプリの連絡先 (アドレス帳) に入る前に、参考としてメールソフトとしては次の様なものがある事を理解しておこう。

1. Microsoft 系
- ・ Windows メール (Windows10 搭載標準メール) には連絡先 (アドレス帳の機能は無い。)
 - ・ outlook メール (Microsoft Office2013~2016 に分類されるソフトで、データを自分のパソコン内に保存して、メールを送受信する方法。Word や Excel の仲間)
 - ・ outlook.com メール Microsoft が提供する Web ベースの無料メール。Outlook.com にサインインで、メールを読んだり送信が出来る。アドレス等のデータは Windows10 標準メールと同じで、クラウド上に保存しており、アカウント登録でOutlook と同期されている事で利用できる。

- ※1. Outlook Express メールは、Windows に付いたメールソフトで、メモ帳やペイントの仲間だが、今はもう使われてない。
- ※2. Windows Live メールはまだ使えるが、メインサポートはすでに終了している。長く使うのは危険。
- ※3. Microsoft Outlook は省略して「Outlook」という。今 Outlook と言ったら、「Microsoft Outlook」を指す。

2. その他のメール ・Gmail (Google)、yahoo、Thunderbird、その他多数。

前述1. の Windows メール (10 に搭載の標準メール) アプリの本体には、連絡先等のアドレス帳機能が搭載されていない。その為に連絡先等のアドレス機能は「People」というアプリが搭載されているのでこれを利用する。このPeopleアプリはクラウドサービスと連携しており、データはクラウド上に保存される。

・ people の登録方法

1. 左下の「スタート」ボタンをクリック
2. 左側のスタートメニューをスライドバーで下げて、P のところの people をクリック
3. 左側の上にある「+」をクリックすると、右側に入力画面が出てくる。各欄の中に入力して ボタンを押す。
(左側にはいくつもの連絡先「アドレス」が表示されているが、クラウドとの同期によって取り込まれて、ひも付きで表示されている。)
4. これで連絡先 (アドレス) の登録は完了です。

連絡先のアドレス登録が出来たので、Windows10 標準メール画面からの操作でアドレス指定し送信が出来ます。

※ 資料では3. の保存する時に、クラウド上の Outlook か Google のどちらを利用するのか選択画面が表示とあるが、現在ではこの選択表示画面は出なかった。したがってその後に続く一連の入力画面も表示されずに登録完了となった。

出ない理由として、この資料平成15年7月なので、発売当時の Windows10 標準メールの機能を解説しており、発売から3年経過しその間大型 UP データが5回実施され操作が改良されたと考えます。

◆ 2時間目 コンピュータの基礎 13回講座の10回目 14:00~14:30 30分

「ファイルの生の姿を見てみよう」 資料日経パソコン 2014.9.8 P80~P82 3ページ
今回のテーマの 生のファイルを見る 為にバイナリエディッタのツールをインストールすると生のデータを見る事が出来る。

コンピュータはあらゆるデータを、「0と1」の数値の2進法で表している。しかし0と1が並んだ2進数表示では判りにくいので、2進数の代用表現で16進数に置き換えて判り易くしている。

2進数	0000	0001	0010	0011	0100	0101	0110	0111	1000	1001	1010	1011	1100	1101	1110	1111
16進数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

例えば、01011010 という8桁の2進数 (8ビット=1バイト) の数値は、上4桁の0101が16進数では5で、下4桁の1010がAなので「5A」となる。

試みにテキストファイルに、“This is a pen”をバイナリエディッタで読み込んで生の姿を見てみると、54.68.69.73.20.69.73.20.61.20.70.65.6E.2E の文字コードになっている。

・ 数字と数値の違いの確認

「数字」とは= 数を表す文字の事。 数値とは= 純粋にプログラム内部で扱う整数値。実際にメモ帳で“0123456789”と入力して、保存後にバイナリエディッタで見ると、30から39の16進数が0~9の文字コードになっている。

123456789 (1億2345万6789) の整数値を書き込み、バイナリエディッタに読み込むと数字の文字コードではなく、「15CD5B07」になっていた。これは10進数の数値で、16進数では「075BCD15」である。

Intel 系のコンピュータ CPU はディスクに書き込むとき、下位のバイト順に記録することから、

まず15という数値を次にCDで最後に07を書き込む。10進数の書き込みは「075BCD15」だが16進数の数値は「15CD5B07」となる。要は全く逆からとなる。
なんだかややこしく頭がこんがらがりますが、ファイルの中身はこんなことだという事が判ったら良いという程度の理解にとどめる。

◆3時間目 質問コーナー

2:30~3:45 75分

質問1. 以前から困っており、月例会で相談することになっていたが、何とか解決が出来たので報告する。

使っているデスクトップパソコンには内臓スピーカが無い。エレコム製の1000円程度の易いスピーカを購入して使ったが、音声聞き取り音量ではノイズがうるさい。ノイズを小さく音量を絞ると音声聞こえにくい。

解決

雑音防止のノイズフィルターの購入も考えたが、7000円と高いのであきらめる。以前に使っていた4個口の「ハブ」があったので、これに接続して聞くとノイズの影響なく、聞き取り易い音量にしても問題がないことが判り解決した。
新しいスピーカの購入もせずに済んだ。

質問2. Live メール(2012)のサポート終了に伴い、Outlookメール(2016)に切り替えたい。メールアドレス帳をCSV形式でのエクスポート/インポート移行の具体的な方法は?

回答 3段階の操作をして移行する。

第1段階 (Windows live メールアドレス帳をCSV形式で保存する。)

- Windows live メールを起動して、左下の「アドレス帳」をクリックする。
- リボンに「ホーム」タブが表示されていることを確認し、「ツール」グループから「エクスポート」をクリックして、表示された一覧から「カンマ区切り (. CSV)」をクリックする。
- 「CSVのエクスポート」が表示されるので、「参照」をクリックする。
- すると「名前をつけて保存」の画面になる。
 - 上段の保存場所欄 ← デスクトップと入力する。
 - ファイル名 (N) ← 〇〇のアドレス帳移行と入力
〇〇は自分の名前が良い。
 - を押す。すると
3. の「CSVのエクスポート」画面に戻るので、画面の下の を押す。
- 「エクスポートするフィールドを選択してください」ボックスから、
 - 名 } 名と姓に
 - 姓 } チェックを入れる。
 - 名前 } 名前に入っている ✓ チェックを外す。その他の項目は必要に応じて、チェックを入れたら を押す。
- すると、デスクトップ画面に4. で付けたファイル名「 〇〇のアドレス帳移行」の名称のファイルアイコンが出ている。

8. このファイルを、USB フラッシュメモリーにコピー保存する。
ここまで月例会で実施した。(Win7 上の Live メールでの操作保存)
ここからは自宅で Windows10 Outlook2016 にアドレス帳をインポートする。

第2段階 (CSV 形式で保存したが .pst 形式に変換して Outlook で使えるようにする。)

9. Windows10 を起動して画面を出す。
10. 8. で保存した USB フラッシュメモリーを挿入接続して、保存した CSV ファイルをデスクトップにコピーペーストする。
11. コピーペーストした「CSV」ファイルをクリックして開く。
12. リボンの「ファイル」タブをクリックする。
13. 画面左側の「エクスポート」をクリックして、「ファイルの種類の変更」をクリックすると、右側の画面に表示された中から、「その他のファイルの種類」の中の「CSV (コンマ区切り)」をクリックして、その下方の「名前をつけて保存」を押す。
14. 「名前をつけて保存」の画面が出るので、
一番上の「↑……(C)……desktop」はそのままにして、
ファイル名 (N) 「アドレス〇〇移行」は、「アドレス〇〇移行 (インポート用)」に変更入力して、「保存」を押す。
15. Excel を閉じる。
- すると、デスクトップ画面上に新しい「アドレス〇〇移行 (インポート用)」のファイルが出来ていた。

第3段階 (Outlook の連絡先 (アドレス帳) に移行する)

16. Outlook(2016)を起動する。
17. 「ファイル」タブをクリックして、左側の「開く/エクスポート」をクリックして、右側画面の中の「インポート/エクスポート」をクリックする。
18. 「インポート/エクスポートウィザード」が表示されるので、
「実行処理を選択してください (C)」のボックスの中から、
「他のプログラムまたはファイルからのインポート」をクリックして「次へ」を押す。
19. 「ファイルのインポート」画面が開くので、
「インポートするファイルの種類を選択してください (S)」のボックスから、
「テキストファイル (カンマ区切り)」をクリックして、「次へ」を押す。
20. 「ファイルのインポート」画面になるので、
○ 重複してもインポートする (A) に☑チェックウイ入れて
「インポートするファイル (F)」の
「参照 (R)」をクリックして「次へ (N)」を押す。
21. 「参照」の画面になるので、
右側下の「テキストファイル (カンマ区切り)」を確認して
窓枠の「アドレス帳移行」ファイルを選択すると、
ファイル名 (N) 「アドレス帳移行」ファイルが表示される。
「OK」を押す。

- 2 2. 自動的に1 9. の「ファイルのインポート」画面に戻り再表示される。
「インポートするファイル (F)」の枠窓の表示が正しく変化している。
を押す。
- 2 3. 「インポート先のフォルダー (S)」の画面で
「連絡先」を選択して、を押す。
- 2 4. 「以下の処理を実行します」の画面になり、
アドレス帳移行c s vを次のフォルダーにインポートします。 を入れる。
この処理は数分かかります。取り消せません。 の表示があります。

完了すると の表示に代わるので、クリックで 終了です。

※Outlook の「アドレス帳」や連絡先を開いてアドレスが表示されているのを確認する。

(第2. 第3段階は月例会後に自宅で行なった。何とかうまくアドレス帳の移行が出来たが、2日程上手くいかずてこづった。)

終盤2 3. の時点で を押すと、次の画面が表示されて前へ進めなくなった。

ファイル C:\User\¥ta-ha アドレス〇〇移行は Outlook データファイル(.pst)では
ありません。

なぜこれが表示されたのか? 原因判らず (多分どこかの箇所で入力や選択間違いをしていたようだ!) 3日程悩みました。

Windows10 にプリインストールされている Outlook2016 に、連絡先 (アドレス帳) が移行出来たので早速メール送信をした結果、正常に送信が出来た事を確認した。

- | | | | |
|-------|---------------------------|-------------------|-------|
| ◆4時間目 | パソコン全般 | 3 : 4 5 ~ 4 - 1 5 | 3 0 分 |
| 記事紹介 | 1. 「Windows10 は初期設定で使うな!」 | 2018.3月号 | |
| | 2. 「初期設定のまま使うと知らない機能だらけ」 | 2017.7月号 | |

記事紹介の1. をするつもりが、資料の配信を忘れたためにできませんでした。

そこで急遽、昨年7月と今年3月に雑誌上で特集記事を紹介した。

2017.7月号と2018.3月号共に13項目ずつの26項目と多く取り上げられており、特に面白く為になるのが、「初期設定で使うと知らない機能だらけ」で不必要なメーカーのプリインストールソフトを一挙に削除は、以前から思っていたことと思わずうなった。

又、スタートメニューの大量の付属ソフトを消去する (使いもしないタイルボタンが画面の半分を占めており、本当に使いにくい。) 等々の各項目のアウトラインを説明し。全26項目はあるが、中にはカットしてもよいものもあり、できるだけ役立つ項目を今後空いた時間でテーマとして取り上げ、消化していくことを提案した。

—以上—